

基本情報

学校

山鹿市立鹿北中学校
山鹿市立鹿北小学校

学校運営協議会

鹿北小・中学校学校運営協議会

平成28年6月10日 設置

委員構成

地域学校協働活動推進員
地域コーディネーター
鹿北区長会長
主任児童員、鹿北駐在所
保育園長、社会福祉協議会
元体育指導員
現小中学校PTA会長
など 11名

会議回数

年間平均6回程度

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働推進員1名(1名)

地域コーディネーター 1名(1名)

地域学校協働本部

鹿北町地域学校協働本部

背景・取組概要

◆鹿北小学校及び鹿北中学校は、「一人一人の個性の開花 ～自ら学び ともに磨き合い 自らを生かす～」を共通の学校教育目標とし実現を目指している。また、校区の鹿北町は過疎化や高齢化が進んでおり、未来の鹿北を担う小・中学生が地域を盛り上げ、地域に貢献する学校づくりを目指している。そのため保小中が連携した15年間の学びを系統的かつ地域と密着した質の高い体験的な学びや行事等を教育活動の軸として展開することで子どもの主体性やコミュニケーション能力等を高める必要性があった。

→地域と密着した15年間の系統的な学びとこれからの鹿北町を担う児童・生徒の育成を目指す。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会

▶小・中学校運営の基本方針への意見や承認 [4月] ▶学校運営へのアドバイス [毎回] ▶小・中学校の授業を参観 [6月・2月] 及び学校評価の提示 [8月・2月] による**子供の実態や課題の共有**▶職員で構成する保小中連携会議に委員全員が参加しての**教育活動等(家庭学習、メディアコントロール、学力向上、児童会・生徒会活動の充実、仲間づくり、他)へのアドバイス** [ほぼ毎回]

◆地域学校協働活動

▶9年間を貫く総合的な学習への地域人材の活用…小学校ではお茶や米、神楽や太鼓等の学習、中学校では森や里山、地域産業や防災等の学習に地域学校協働活動推進員等から紹介のあった**多様な地域人材の協力**を得ながら、体験活動等を重視した本物の学びを行っている。
▶中学生による「芸術の森in鹿北」の実施…町文化協会員の高齢化に伴い、町文化祭の継続が危惧されてきた。そこで、**企画・運営全般を中学2年生が引き取り、地域学校協働活動推進員と協働しながら「かほく未来会議」(文化協会との会議)等を経て毎年開催**し好評を得ている。
▶「かほくまつり」への参画…15年間の学びの集大成として地域の祭りである「かほくまつり」に中学3年生が参画している。令和4年度・5年度は「映画上映会」を実施。上映に加えアニメーターやプロダクション会社とのトークショーなどすべてを**中学生が地域学校協働活動推進員と協働しながら企画・運営**し、当日は300人ほどが来場するイベントとなった。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施

▶**地域学校協働活動推進員が学校運営協議会会長**であることが一体的推進の要、**地域コーディネーターをはじめ地域学校協働本部メンバーが学校運営協議会員**であることが一体的推進の柱となっている。



学校運営協議会



鹿北未来会議



映画上映会

成果・効果

◆専門性のある地域人材の指導で**質の高い体験的な学びが実現**し、児童生徒の学習効果が上がっている。また、地域の先生の喜びも大きい。
◆年々取組を重ねるごとに、学校には地域の力が、地域には学校の力が必要不可欠となり、**学校を核とした地域コミュニティが実現**しつつある。
◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施により、**小中学生が主体的に地域に関わる機会が増加**し、長年継続することで、**児童生徒の主体性、表現力、コミュニケーション能力等が高まりつつある。**

【指標1】

地域行事に積極的に参加している。
生徒 3.17(H30)→3.31(R元)→3.23(R3)→3.66(R6)

【指標2】

地域の方々と積極的な交流ができています。開かれた学校である。
生徒 2.81(H30)→3.06(R元)→3.25(R3)→3.66(R6)
保護者3.44(H30)→3.45(R元)→3.47(R3)→3.50(R6)

※指標は4.0が満点